令和２年５月定例

伊達市教育委員会　会議録

令和２年５月13日開催

 令和２年５月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時　　令和２年５月13日（水）13時30分～

２．開催場所　　本市役所東棟３階　庁議室

３．出席者　　　教育長　菅野　善昌

１番　髙野　保夫　　委員（教育長職務代理者）

　２番　菅野　千惠子　委員

　　　　　　　　３番　三品　清重郎　委員

４番　関根　勝富　　委員

1. 欠席委員　　なし

５．説明のため出席した者

　　　　　　　　教育部長　　　　　　　　　　　　田中　清美

　　　　　　　　教育総務課長

　　　　　　　　（兼学校給食センター所長）　　　土田　一紀

　　　　　　　　生涯学習課長　　　　　　　　　　森林　敏昭

　　　　　　　　学校教育課長　　　　　　　　　　熊澤　正人

　　　　　　　　こども部長　　　　　　　　　　　橘内　重康

　　　　　　　　こども支援課長　　　　　　　　　寺田　和也

　　　　　　　　こども育成課長　　　　　　　　　桃井　秀孝

６．本委員会書記

　　　　　　　　教育総務課総務企画係長　　　　　冨田　昭子

　　　　　　　　教育総務課総務企画係主事　　　　大橋　勝

1. 日程１

**○菅野教育長**ただいまから、令和２年５月定例伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席しているため、会議が成立しました。開会時刻は１時32分です。

８．日程２

**○菅野教育長**　会期は、本日13日にしたいと思いますが異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、会期は本日13日と決定します

９　日程３

**○菅野教育長**　本日の議事録署名は、３番三品委員と４番関根委員にお願いします。

10.　日程４

**○菅野教育長**　本日の会議の進め方について、土田教育総務課長から説明をお願いします。

**○土田教育総務課長**　会議次第により説明

１　議事

　　　議案第22号　伊達市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

２　協議

３　報告

11.日程５

**○菅野教育長**　傍聴許可を求める方はいますか。

**○冨田総務企画係長**　いません。

12.日程６

**○菅野教育長**「議案第22号　伊達市学校給食センター運営委員会の委嘱について」学校給食センター所長から説明します。

**○土田学校給食センター長**資料により説明

**○菅野教育長**　議案第22号について、委員の皆様の質疑をお願いします。

質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案は原案のとおり決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**異議なしと認め、「議案第22号　伊達市給食センター運営委員会

委員の委嘱について」原案のとおり可決されました。

13.日程７

**○菅野教育長**　本日は、各委員から協議内容の提案はありません。事務局職員からありますか。

**○髙野委員**学校再開、中体連について話し合いたいと思います。

**○菅野教育長**髙野委員から提示された内容については、報告でも触れる内容となるため、報告後にまとめて行います。

14.日程８

主な教育委員会関連事業について説明

１　教育委員会関連事業について

（１）福島県都市教育長協議会定期総会【コロナ感染症により書面開催】

①　予定期日　令和２年４月 13日（月）

②　予定内容　　令和元年度の諸報告、令和２年度の諸計画の審議

　　③　予定新役員（予定者は書面により審査済み）

〇　会長　寺木　誠伸（会津若松市）〇　副会長　吉田　尚（いわき市）

〇　監事　小野　義明（郡山市）、古関　明善（福島市）

（２）福島県市町村教育委員会連絡協議会伊達支会役員会［会場：本市役所］

①　期日　令和２年５月７日（木）参加者：菅野、高野教育長職務代理者

②　内容　　令和２年度総会について

　　○　総会日程、提出案件、研修会、総会等の役割分担

○　総会等　令和２年５月26日（火）

（予定）・　15：00～16：00　：総　会【コロナ感染症のため書面開催】

・　16：10～17：00　：研修会【状況次第で開催検討】

・　17：15～　　　 ：懇親会【中止】

（３）令和２年度福島県市町村教育委員会連絡協議会定期総会［コロナ感染症により書面開催］

①　予定期日　　令和２年５月12日（火）

②　予定内容　　令和元年度の諸報告、令和２年度の諸計画等の審議

　　○　東北六県市町村教育委員会連合会第68回定期総会：７月16日（木）

（盛岡市）

　　○　　　　　同 上　　　　 　　　　　　研修会：７月17日（金）（盛岡市）

　　○　教育委員・教育長研修会：８月27日（木）　福島テルサ

　　○　県北ブロック研修会　　：７月～９月　　　　安達支会（本宮市）

〇　新役員の選出

２　新型コロナウイルス感染防止及び感染拡大防止のための取組

（１）知事による緊急事態措置の５月31日（日）までの延長要請

　　①　小・中学校　⇒　臨時休業の延期（～５月31日）

　　②　県知事による延長要請の解除及び感染の状況等を踏まえ、感染防止策を徹底した上で、できるだけ早く学校を再開する。

　　③　学校の再開に向けて

　　〇　定期的な登校日の設定

　　〇　学びの場の工夫（学校のＨＰの活用、学校図書館における定期貸出日の設定等）

　　〇　週あたり複数回の登校日の設定

（２）保育園・認定こども園・幼稚園の対応

　　　可能な限り、家庭での保育を要請

（３）臨時休業中の対応（子どもの居場所づくり）

　　〇　放課後児童クラブは通常通り開設

（４）市職員の対応

①　分散登庁（３部制）

②　分散勤務【教育部（伊達福祉センター大会議室）】

　　　　　　【子ども部（伊達福祉センター中会議室）】

３　その他

（１）５月教育長の部屋（市民へのメッセージ）

　　　「新型コロナウイルス感染症に伴う市内小中学校の臨時休業について」

（２）学校だより、新聞報道等から

（３）その他

**○菅野教育長**髙野委員からの協議内容について事務局から説明願います。

**○熊澤学校教育課長**臨時休業再開にむけ、５月18日（月）から各学校において週２～３回の登校日を設け、段階的な教育活動の実施を考えている。５月14日（木）に政府が緊急事態宣言解除を行う見通しで、５月15日（金）に福島県知事から休業要請解除予定。福島県教育委員会から１週間以内に学校再開要請の通知があると思われる。週明けには教育委員会として対応を決定したい

**○菅野教育長**福島県知事の休業要請により、県教育委員会では今月末を目安に臨時休業要請をしている。知事の休業要請解除を受け、県教育委員会では、幅を持たせた休業要請解除が予想される。本市では県教育委員会の通知を精査し決定したい。

**○熊澤学校教育課長**中体連伊達支部において地区大会開催を検討中。いわき市では地区大会開催予定と報道されている。教育委員会として中学３年生の思い出作りを後押ししていく。

**○菅野教育長**学校再開に向け、委員の方から意見ありますか。

**○髙野委員**会津地方は18日から、いわき市は21日から学校再開予定と聞いている。給食再開は業者へ遅くとも２日前には連絡しなければならず、本市内の学校再開は20日(水)頃になるのではないかと個人的に考えている。

　学校再開には環境整備が大切。子ども達を３密状態にしないため空き教室使用とともに体育館等の使用要望が出ており、その際ホワイトボードを使い学習効率を上げたいという声もある。子ども達が密接して話すことが予想され、また教員の感染予防のため、フェイスガードを準備できないか考えた。教育委員会として即対応できる事は限られるが、学校再開に向け環境整備を行わなければならない。

**○菅野教育長**　環境整備について事務局から報告ありますか。

**○田中教育部長**市備蓄用消毒液を５月７日に各学校へ配布済。追加発注は本市健康推進課で一括対応する。フェイスガードは現在入手困難であり、教員と子どもの間に透明なシート設置も考えたが、否定的な意見があった。

　空き教室の状況については各学校様々。文部科学省学校再開ガイドラインに机間を１メートル以上離す事とされており、児童生徒数の多い学校でも教室内で１メートル確保が可能である。今後の対応は、各学校の実情を把握し検討する。

**○髙野委員**　音楽の授業は狭い教室で行うと感染の心配があり、教室を体育館に変更を考える教員もいると思う。

**○田中教育部長**接触を伴う体育の授業や飛沫を伴う音楽の授業は教育課程を変更し、２学期以降の実施と市校長会に通知した。夏休みや子ども達のストレス対応など、音楽の授業を体育館で実施することも検討したい。

**○菅野教育長**家庭に感染予防をお願いしており、学校での感染リスクも下げていかなければならない。

**○田中教育部長**非接触型体温計を発注しているが、納品は７月上旬予定。家庭で毎日検温し、シートに記入することとしているが、検温忘れや時間がなく検温できなかったなどを想定し、100人に１台の割合で配置を予定している。

**○菅野教育長**他にご意見ありますか。

**○三品委員**　体育の際にマスク着用すべきか、また通常であれば６月から水泳が開始されるが、対応はどうするのか。

**○熊澤学校教育課長**水泳は、県が実施について検討中であり、指針に基づき対応する。

体育では基本的にマスクは着用せず実施し、子ども達が接触を伴う単元は２学期以降に実施する予定。

**○菅野委員**通常５月は子ども達が学校に慣れてきた時期であるが、今年度は子ども達の学校生活リズムが整わない状態で学校が再開される。リズムを整えるには時間がかかると思われる。特に小学１年生は幼稚園気分の子どもが多く、字が書けない、読めない、計算できない状況で、１年生には基礎から丁寧な指導が求められる。６年生は自分達が最高学年であるという事を自覚していない可能性がある。学習、学校生活を早急に身に付けさせようと焦らず、子ども達の実情に合わせて指導していただきたい。

**○菅野教育長**補足はありますか。

**○熊澤学校教育課長**指摘のあったことは学校内でも危惧している。また保護者からも心配する声が上がっており、子ども達の学習、成長に向け指導をしていく。

**○髙野委員**　小学校は45分授業、中学校は50分授業だが、再開直後は集中力が続かない場合がある。短縮授業など検討中か。

**○熊澤学校教育課長**子ども達の現状、授業の進行具合を各学校で判断し、学校の実情に合わせ準備をしていく。

**○菅野教育長**授業の中で軽く体を動かす時間を作るなど集中力を持続させる工夫が必要であると思う。

　次は中体連について意見はありますか。

**○髙野委員**　県北地区中体連会議が14日にあり、６月下旬に開催可否を決める。中学３年生の思い出作りのため保護者から開催を望む声が上がっており、開催を検討していただきたい。

**○菅野教育長**臨時休業再開と中体連についてご意見をいただきました。学校再開に向け最善を尽くしてまいります。

　各教育委員から報告ございますか。

**○関根委員**月舘学園開校の経緯について報告する。

月舘学園は子ども達、保護者、地域住民が望み、小中一貫校として開校した。

小中一貫校の案は７年前に出され、新入生が減っている中、月舘小学校と小手小学校校に分かれる必要はあるのか、将来的に月舘から学校がなくなるのでは、などの声が上がった。20年前、同様に月舘小学校と小手小学校の統合が議論された。しかし地域住民の反対により却下されたという経過をふまえ、月舘中学校を小中一貫校にする案となった。

その後、保護者が月舘プロジェクトという団体を立ち上げ、小中一貫校の開校に向け動き出した。まず子ども、保護者間の交流を図るイベントを開催し、同時に保護者へ「学校統合や小中一貫校をどの様に考えていますか」という内容のアンケート調査を実施した結果、月舘プロジェクトの活動が徐々に認識された。

過去の統合反対経験を踏まえ、各自治会代表と意見交換会や説明会を実施してきた。当初は否定意見もあったが、児童生徒数の推移や新入生がいない年度があることを伝え、納得していただいた。その後、各自治会から保護者へ説明し周知を図った。

　また、小中一貫校の設立に向け、郡山市立湖南小中一貫校へ視察に行き、不安や困難に思っていたことが解消された。

このような経緯を経て、地域住民と保護者が団結し、小中一貫校の要望書を市へ出すこととなり、その後検討され、今年４月に開校となった。

今後は学力の底上げとともに月舘支所と連携し、学校とは異なる視点での学習を行いたい。

またスポーツクラブを設立し、部活動、スポーツ少年団、地域住民も利用できる場にしていただきたい。

そして、人との繋がりを大切にし、子ども達と教員、保護者の繋がり強くするイベントを今後実施したい。

開校に向けての活動を経て、保護者と上の世代の住民が話す機会が増え、月舘マルシェも開催でき、地域が活性化されたと感じる。今後、小手小学校の利活用の話し合いを進めていく。

月舘学園開校の経緯が今後の参考になればと思い報告した。

**○菅野教育長**設立当時から関わり、地元視点を踏まえながら説明していただいた。今後の学校運営の視点から、月舘学園について説明はありますか。

**○熊澤学校教育課長**現在、文部科学省がGIGAスクール構想を提唱しており、１人１台タブレット型パソコンを整備をする。タブレット型パソコンを利用し、どの様な教育をするかが重要。月舘学園はこれに先駆け、導入した。様々なことを試み、その結果を他の学校へも展開できるよう、我々も指導を強化していく。

**○髙野委員**　月舘学園はＩＣＴ教育、英語教育、地域の特色を生かした教育の３本柱がある。湖南小中学校では地域の民話を披露した場面があった。月舘の特色を生かした教育について何かアイデアを考えているか。

**○関根委員**スクールコミュニティの中で話し合っている。しかし具体的に決定はしていない。

**○髙野委員**　ＩＣＴ教育、英語教育は開始している。月舘の特色を生かした教育は総合的な学習で重要である。

**○田中教育部長**昨年４月から地域コーディネーターを２人配置し、地域の特色を生かした教育に関わっていただく地域の方に登録いただいている。どのような授業が可能か話し合っている。

　梁川スクールコミュニティの活動から市内初の児童合唱団が結成された。団員は本市内４地域の小中学校から参加している。今後は地域特色を生かした教育を活発にし、特徴的な取り組みは報告していく。

今後、月舘学園施設整備の説明やスクールコミュニティ活動状況の周知をしていく。

**○菅野委員**大石小学校や掛田小学校から月舘学園中学校へ入学した児童がいる。月舘小学校、小手小学校の他に入学した児童はいるのか。

**○田中教育部長**月舘地域以外の児童生徒は３名と記憶している。うち２名は東日本大震災により他県へ避難していた子どもで、教育方針である３本柱に魅力を感じ、入学した。次回定例会までに正確な数を報告する。

**○髙野委員**児童減少防止のため、月舘学園の魅力が味わえる見学ツアーなど様々な企画を考えて行く必要がある。

**○田中教育部長**２月に首都圏からの移住見学ツアーの中で、月舘学園の視察も予定していたが新型コロナウイルスの影響より中止となった。

　月舘地域以外からの入学者が増えると、本来の学区の児童生徒の減少につながるため、市外から月舘地域に移住し通学することが理想。

**○菅野教育長**他にご意見、ご質問はありませんか。

それでは（３）各課から報告お願いします。

**○土田教育総務課長**令和２年度教育委員会行事報告表より説明する。

**○森林生涯学習課長**報告なし。

**○熊澤学校教育課長**休業中ではあるが、本市主催の研修は必要最低限実施する予定。

**○桃井こども育成課長**幼稚園再開は、小学校再開時期に合わせる。

**○寺田こども支援課長**遊び場などの開放は状況を見て再開する。

**○髙野委員**梁川美術館、市立図書館、交流館等の開館はどうなるか。

**○森林生涯学習課長**交流館はこちらの所管ではないが美術館、歴史資料館、図書館と同様に最短で18日から再開する予定。市立図書館は14日から、カード登録者は事前予約の上、日時指定の方法による貸出を行う。

**○菅野委員**６月17日の保原小学校視察は行われるのか。

**○熊澤学校教育課長**行う予定だが、市内感染者が出た場合は順延を考える。

**○菅野教育長**６月の定例会日程について事務局よりお願いします。

**○土田教育総務課長**６月定例伊達市教育委員会会議

日時　令和２年６月３日（水）13：30分～

会場　庁議室

**○菅野教育長**本日の５月定例教育委員会は、14時54分で終了します。

14．日程７　閉　　会　14時54分

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

　　　　令和２年５月13日

　　　　　　　　　　　　議事録署名人

　３番委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４番委員

　　　　　　　　　　　議事録調製者　教育総務課総務企画係主事　大橋 勝